

草津市の障害者福祉の動向

統計等による概況

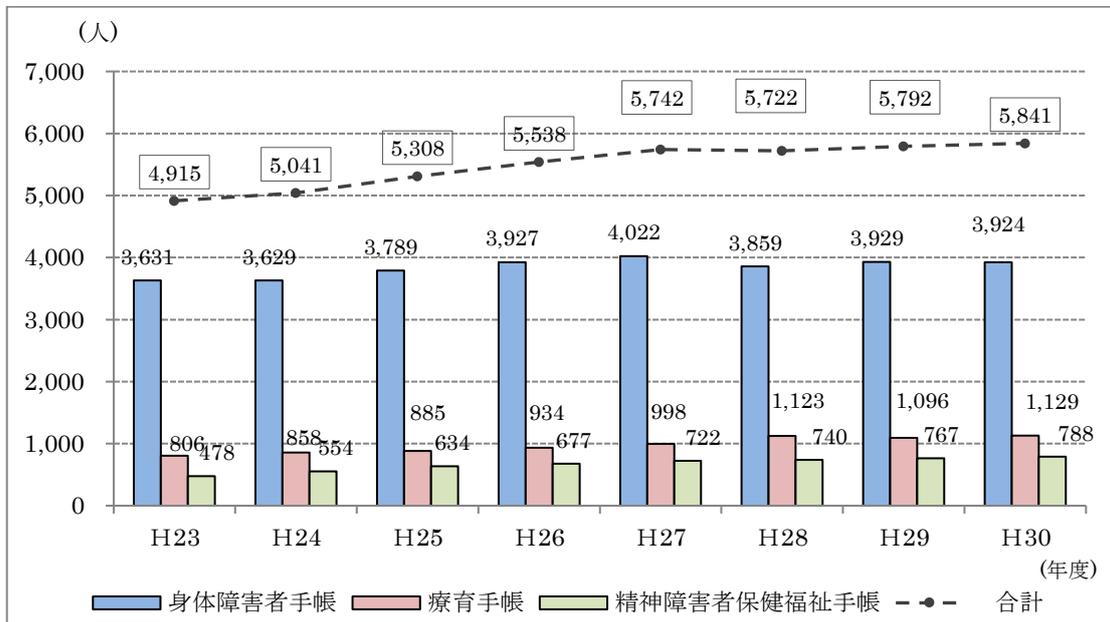
1 障害者の数

◆手帳所持者数と実在住者数

(単位：人 %)

年度	草津市の人口 A	障害者手帳所持者数 B(a+b+c)	対人口比 B/A	身体障害者手帳 a	比率 a/A	療育手帳 b	比率 b/A	精神障害者保健福祉手帳 c	比率 c/A
H23年度	124,624	4,915	3.94	3,631	2.91	806	0.65	478	0.38
H24年度	125,879	5,041	4.00	3,629	2.88	858	0.68	554	0.44
H25年度	127,610	5,308	4.16	3,789	2.97	885	0.69	634	0.50
H26年度	128,833	5,538	4.30	3,927	3.05	934	0.72	677	0.53
H27年度	130,485	5,742	4.40	4,022	3.08	998	0.76	722	0.55
H28年度	131,846	5,722	4.34	3,859	2.93	1,123	0.85	740	0.56
H29年度	132,917	5,792	4.36	3,929	2.96	1,096	0.82	767	0.58
H30年度	134,224	5,841	4.35	3,924	2.92	1,129	0.84	788	0.59

資料：福祉行政報告例



草津市の手帳所持者の総数は、5,841人であり、人口の4.35%に相当します。約23人に1人が障害者であり、身体障害者3,924人、知的障害者1,129人、精神障害者788人となります。身体障害者は横ばいで推移していますが、障害者数全体としては、増加傾向となっています。

2 身体障害者の現状

① 障害等級別の身体障害者手帳所持者数の推移

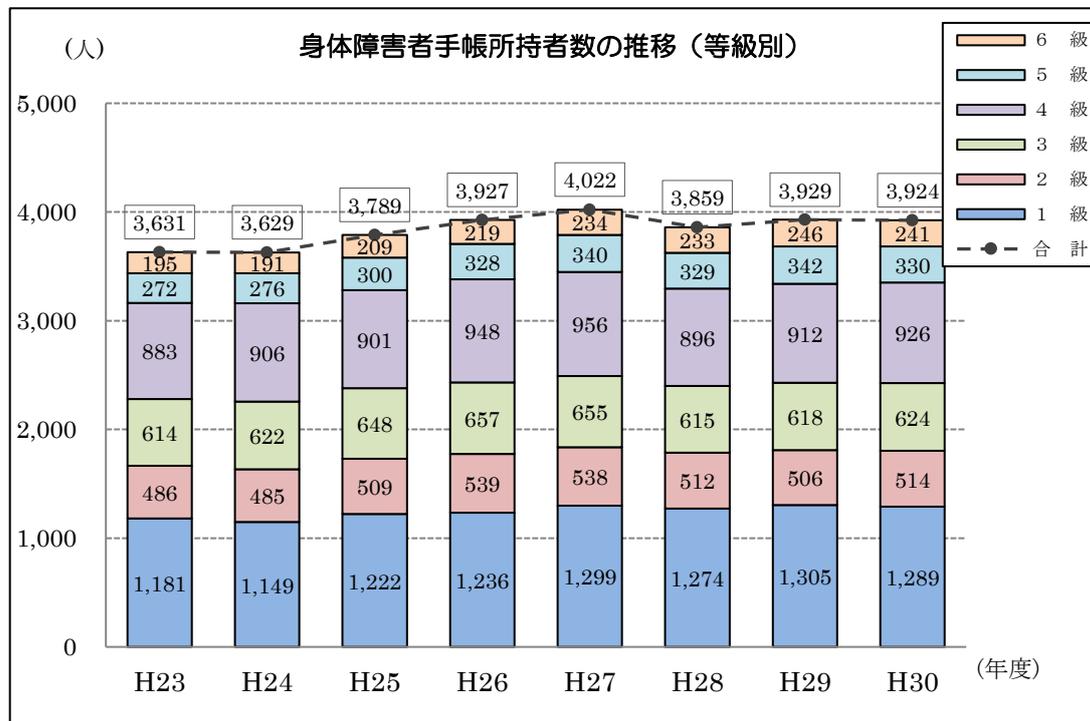
(単位：人)

人数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1 級	1,181	1,149	1,222	1,236	1,299	1,274	1,305	1,289
2 級	486	485	509	539	538	512	506	514
3 級	614	622	648	657	655	615	618	624
4 級	883	906	901	948	956	896	912	926
5 級	272	276	300	328	340	329	342	330
6 級	195	191	209	219	234	233	246	241
合計	3,631	3,629	3,789	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924
前年度増加率	1.05	1.00	1.04	1.04	1.02	0.96	1.02	1.00

(単位：%)

割合	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1 級	32.5	31.7	32.3	31.5	32.3	33.0	33.2	32.9
2 級	13.4	13.4	13.4	13.7	13.4	13.3	12.9	13.1
3 級	16.9	17.1	17.1	16.7	16.3	15.9	15.7	15.9
4 級	24.3	25.0	23.8	24.1	23.8	23.2	23.2	23.6
5 級	7.5	7.6	7.9	8.4	8.5	8.5	8.7	8.4
6 級	5.4	5.3	5.5	5.6	5.8	6.0	6.3	6.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1・2級の割合	45.9	45.0	45.7	45.2	45.7	46.3	46.1	45.9

(各年度末現在)



身体障害者は増加傾向ですが、平成28年度に減少しているのは台帳を整理したためです。平成30年度では、身体障害者数全体の約46%（1,803人）が手帳1級・2級の重度障害者です。直近では3、4級の中度の方の手帳取得が進んでいます。

②障害部位別の身体障害者手帳所持者数の推移

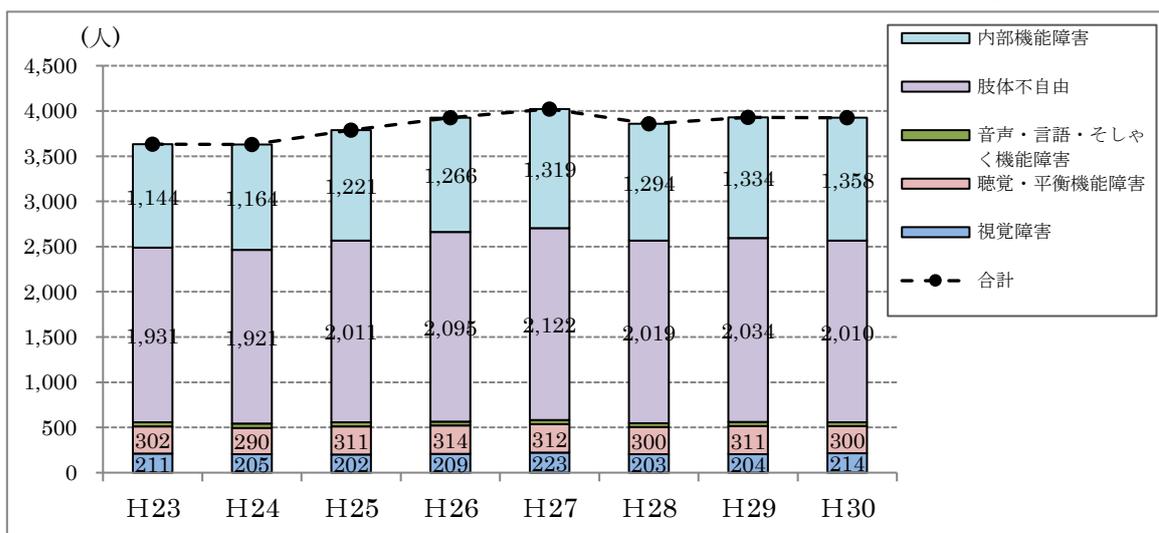
(単位：人)

人数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
視覚障害	211	205	202	209	223	203	204	214
聴覚・平衡機能障害	302	290	311	314	312	300	311	300
音声・言語・そしゃく機能障害	43	49	44	43	46	43	46	42
肢体不自由	1,931	1,921	2,011	2,095	2,122	2,019	2,034	2,010
心臓障害	657	663	690	711	736	718	744	747
じん臓障害	259	263	287	297	311	328	332	332
呼吸器障害	53	56	65	65	71	65	64	68
膀胱・直腸・免疫不全	166	173	168	180	187	170	180	196
肝臓障害(※1)	9	9	11	13	14	13	14	15
内部機能障害 小計	1,144	1,164	1,221	1,266	1,319	1,294	1,334	1,358
合計	3,631	3,629	3,789	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924

(単位：%)

割合	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
視覚障害	5.8	5.6	5.3	5.3	5.5	5.3	5.2	5.5
聴覚・平衡機能障害	8.3	8.0	8.2	8.0	7.8	7.8	7.9	7.6
音声・言語・そしゃく機能障害	1.2	1.4	1.2	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1
肢体不自由	53.2	52.9	53.1	53.3	52.8	52.3	51.8	51.2
心臓障害	18.1	18.3	18.2	18.1	18.3	18.6	18.9	19.0
じん臓障害	7.1	7.2	7.6	7.6	7.7	8.5	8.4	8.5
呼吸器障害	1.5	1.5	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7
膀胱・直腸・免疫不全	4.6	4.8	4.4	4.6	4.6	4.4	4.6	5.0
肝臓障害(※1)	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
内部機能障害 小計	31.5	32.1	32.2	32.2	32.8	33.5	33.9	34.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)



平成30年度では、車いすや歩行器使用者等の肢体不自由が2,010人(51.2%)、内部機能障害のうちペースメーカーなどの心臓機能障害が747人(19%)、人工透析などの腎臓機能障害332人(8.5%)と続きます。近年の傾向としては、内部機能障害の占める割合が増加しています。

3 知的障害者の現状

◆総合判定別の療育手帳所持者数の推移

(単位：人)

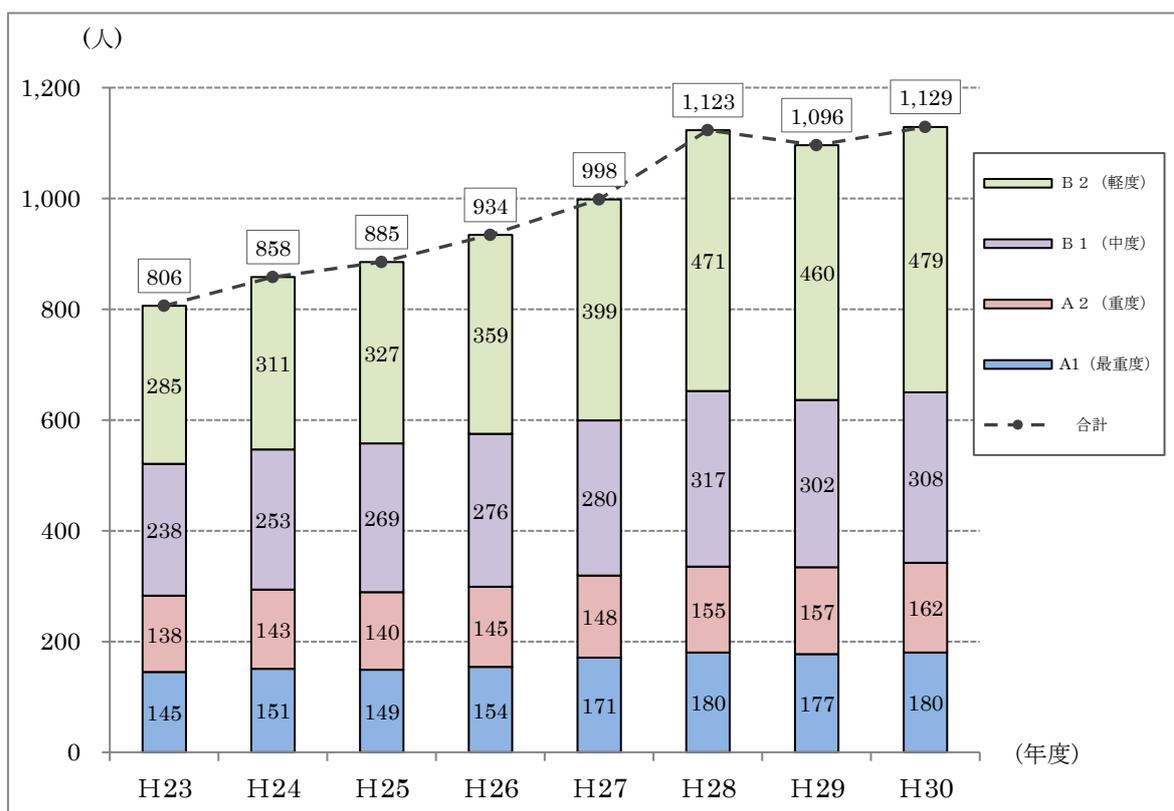
人数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
A1 (最重度)	145	151	149	154	171	180	177	180
A2 (重度)	138	143	140	145	148	155	157	162
B1 (中度)	238	253	269	276	280	317	302	308
B2 (軽度)	285	311	327	359	399	471	460	479
合計	806	858	885	934	998	1,123	1,096	1,129
前年度増加率	1.15	1.06	1.03	1.06	1.07	1.13	0.98	1.03

(単位：%)

割合	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
A1 (最重度)	18.0	17.6	16.8	16.5	17.1	16.0	16.1	15.9
A2 (重度)	17.1	16.7	15.8	15.5	14.8	13.8	14.3	14.4
B1 (中度)	29.5	29.5	30.4	29.6	28.1	28.2	27.6	27.3
B2 (軽度)	35.4	36.2	36.9	38.4	40.0	41.9	42.0	42.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例



知的障害者は平成29年度では若干減少していますが、平成30年度では増加しています。全体の約30% (342人) が手帳A1・A2の重度障害者となっています。特に軽度 (B2) は、本人、周囲ともに障害に気づかないまま社会生活を営んでいるケースが多いといわれていますが、周知啓発や関係機関等において支援につなげる取り組みが進んでいるため、増加傾向になっているものと思われます。

4 精神障害者の現状

◆等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(単位：人)

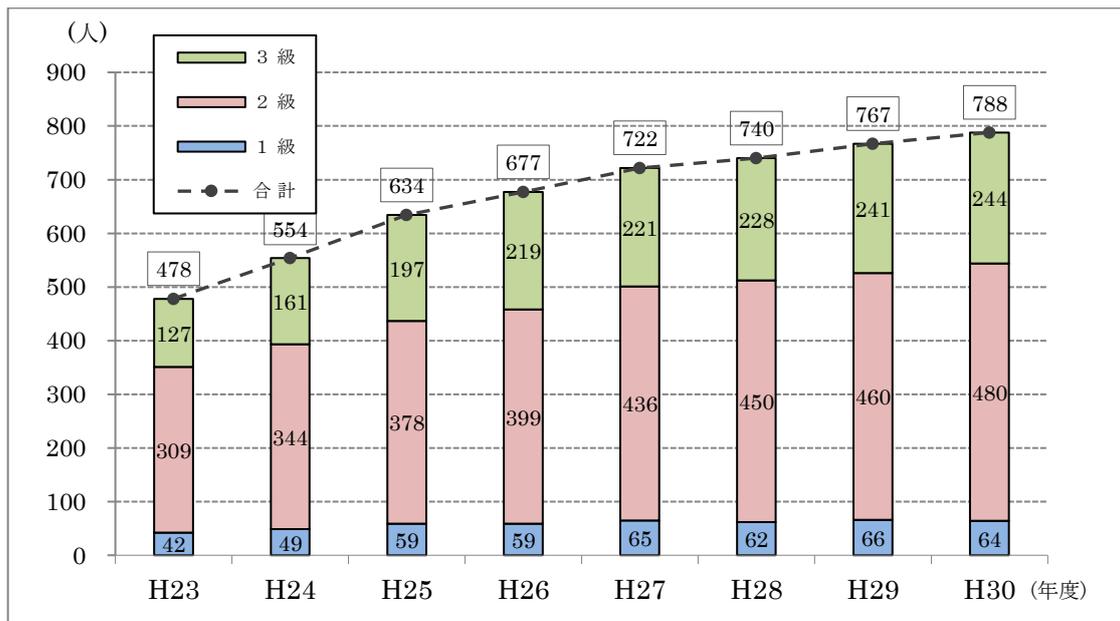
人数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1 級	42	49	59	59	65	62	66	64
2 級	309	344	378	399	436	450	460	480
3 級	127	161	197	219	221	228	241	244
合計	478	554	634	677	722	740	767	788
前年度増加率	1.15	1.16	1.14	1.07	1.07	1.02	1.04	1.03

(単位：%)

割合	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1 級	8.8	8.8	9.3	8.7	9.0	8.4	8.6	8.1
2 級	64.6	62.1	59.6	58.9	60.4	60.8	60.0	60.9
3 級	26.6	29.1	31.1	32.3	30.6	30.8	31.4	31.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ



精神障害者は増加傾向となっています。平成30年度では、全体の約69%（544人）が手帳1級・2級の重度障害者となっています。近年は、中度から軽度の精神障害者が増加傾向となっています。

5 年齢階層別手帳所持者数

①身体障害者手帳所持者数（年齢階層別）

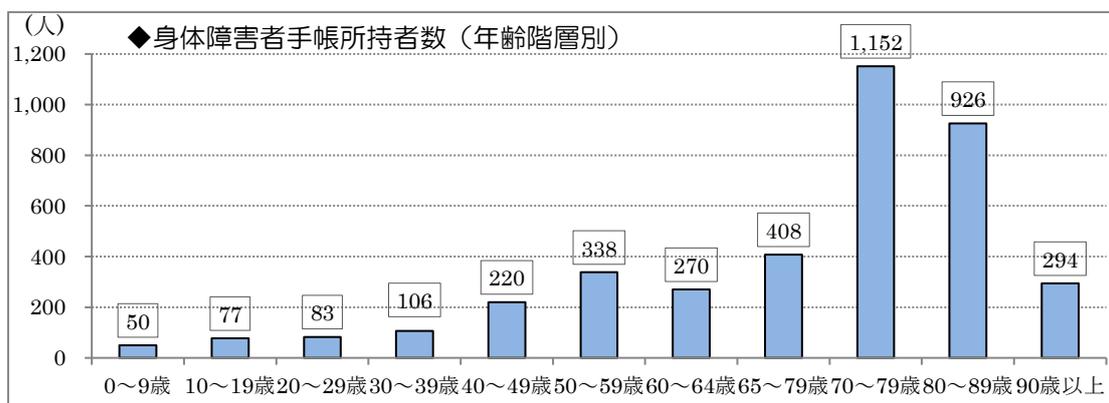
（単位：人）

区分	等級別						計	※障害部位別				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級		視覚	聴/平	音言そ	肢体	内部
0～9歳	33	5	7	4	0	1	50	1	5	1	30	13
10～19歳	39	14	9	14	0	1	77	2	10	0	52	13
20～29歳	35	15	9	15	4	5	83	5	5	4	46	23
30～39歳	47	22	10	15	6	6	106	4	16	5	46	35
40～49歳	67	43	36	33	30	11	220	13	20	3	120	64
50～59歳	100	70	37	65	39	27	338	14	33	1	202	88
60～64歳	98	30	35	64	31	12	270	17	12	4	145	92
65～69歳	135	55	66	98	32	22	408	28	19	2	215	144
70～79歳	376	130	183	292	97	74	1,152	58	57	13	578	446
80～89歳	267	95	174	255	74	61	926	54	86	8	443	335
90歳以上	92	35	58	71	17	21	294	18	37	1	133	105
合計	1,289	514	624	926	330	241	3,924	214	300	42	2,010	1,358
うち65歳未満	419	199	143	210	110	63	1,144	56	101	18	641	328
うち65歳以上	870	315	481	716	220	178	2,780	158	199	24	1,369	1,030
65歳未満の割合	32.5%	38.7%	22.9%	22.7%	33.3%	26.1%	29.2%	26.2%	33.7%	42.9%	31.9%	24.2%
65歳以上の割合	67.5%	61.3%	77.1%	77.3%	66.7%	73.9%	70.8%	73.8%	66.3%	57.1%	68.1%	75.8%

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

※ 障害部位について、「視覚」は視覚障害、「聴/平」は聴覚・平衡機能障害、「音言そ」は音声・言語・そしゃく機能障害、「肢体」は肢体不自由、「内部」は内部機能障害をそれぞれ表します。

また、集計にあたり各種障害部位を併せ持つ（重複している）方については、代表的な障害部位で計上しています。



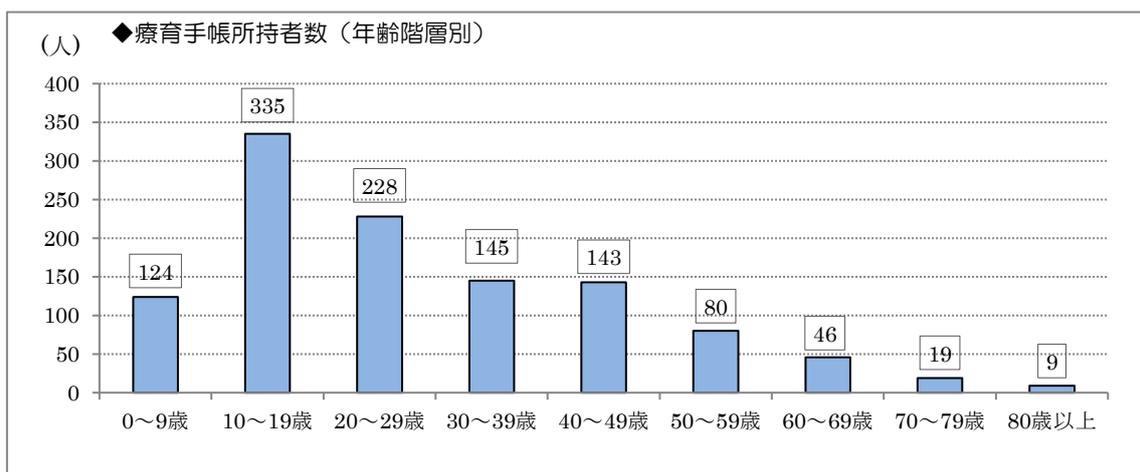
65歳以上が全体の70.8%（2,780人）を占めており、障害者の加齢や加齢に伴う手帳取得が進んでいます。障害部位別の年齢階層別をみると、特に70歳以上の肢体不自由ならびに内部障害がとりわけ高い数値となっています。

②療育手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	A1	A2	B1	B2	計
0～9歳	17	18	26	63	124
10～19歳	45	46	81	163	335
20～29歳	40	32	68	88	228
30～39歳	30	25	40	50	145
40～49歳	25	21	43	54	143
50～59歳	8	7	29	36	80
60～69歳	9	8	13	16	46
70～79歳	4	4	5	6	19
80歳以上	2	1	3	3	9
合計	180	162	308	479	1,129

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ



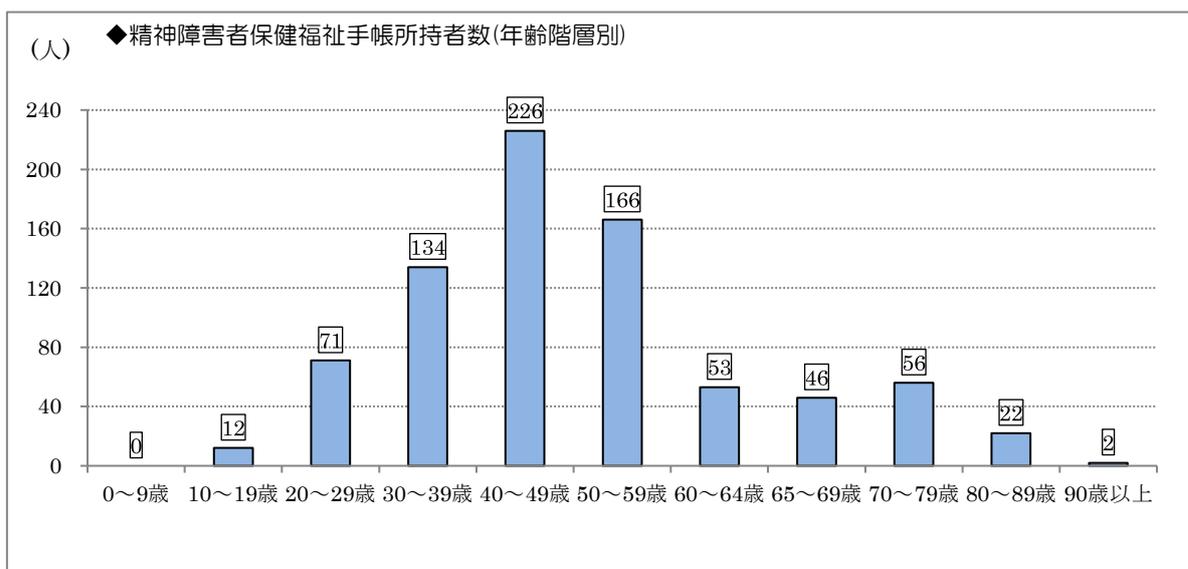
※療育手帳の統計については、滋賀県手帳システムならびに市統計システムともに10歳ごとの区分統計です。

20歳未満が全体の約40%（459人）を占めています。20歳未満では、平成27年度428人、平成28年度447人、平成29年度461人、平成30年度459人と推移しており、早期療育等の取り組みのなかで若年層の手帳取得が増えているものと思われます。10～19歳で特に多い理由は、就職活動などにおいて手帳の利用ニーズが高まることが一因だと思われます。

③精神障害者保健福祉手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	1級	2級	3級	計
0～9歳	0	0	0	0
10～19歳	0	12	0	12
20～29歳	3	34	34	71
30～39歳	2	79	53	134
40～49歳	13	148	65	226
50～59歳	12	99	55	166
60～64歳	3	34	16	53
65～69歳	9	25	12	46
70～79歳	11	36	9	56
80～89歳	10	12	0	22
90歳以上	1	1	0	2
合計	64	480	244	788



20歳以上から59歳までの所持者数が全体の約76%（597人）を占めています。当市においては特に30歳代から50歳代の所持者が多く、働く世代の精神障害者は全国的に増加しており、精神疾患は「現代病」とも呼ばれ、社会問題となっています。

6 障害程度区分の認定

◆障害程度区分認定者数の推移

(単位：人)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
区分1	70	72	71	53	32	31	27
身体障害者	4	6	4	6	2	3	3
知的障害者	28	26	29	23	17	17	17
精神障害者	38	40	38	24	13	11	7
区分2	109	95	105	134	137	147	141
身体障害者	13	11	10	15	15	16	17
知的障害者	69	60	61	68	61	72	68
精神障害者	27	24	34	51	61	59	56
区分3	85	81	83	73	81	93	97
身体障害者	16	17	19	18	15	15	13
知的障害者	52	48	49	45	52	52	51
精神障害者	17	16	15	10	14	26	33
区分4	51	48	63	62	63	75	79
身体障害者	7	7	9	17	11	13	14
知的障害者	39	37	47	39	42	45	48
精神障害者	5	4	7	6	10	17	17
区分5	60	57	60	66	60	60	60
身体障害者	12	9	13	24	15	15	14
知的障害者	46	46	45	41	43	44	43
精神障害者	2	2	2	1	2	1	3
区分6	71	75	87	104	117	120	128
身体障害者	23	24	26	29	31	33	31
知的障害者	48	51	61	74	85	86	96
精神障害者	0	0	0	1	1	1	1
合計	446	428	469	492	490	526	532
身体障害者	75	74	81	109	89	95	92
知的障害者	282	268	292	290	300	316	323
精神障害者	89	86	96	93	101	115	117
割合(%)	100	100	100	100	100	100	100
身体障害者	16.82	17.29	17.27	22.16	18.16	18.06	17.29
知的障害者	63.23	62.62	62.26	58.94	61.23	60.08	60.72
精神障害者	19.95	20.09	20.47	18.90	20.61	21.86	21.99

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

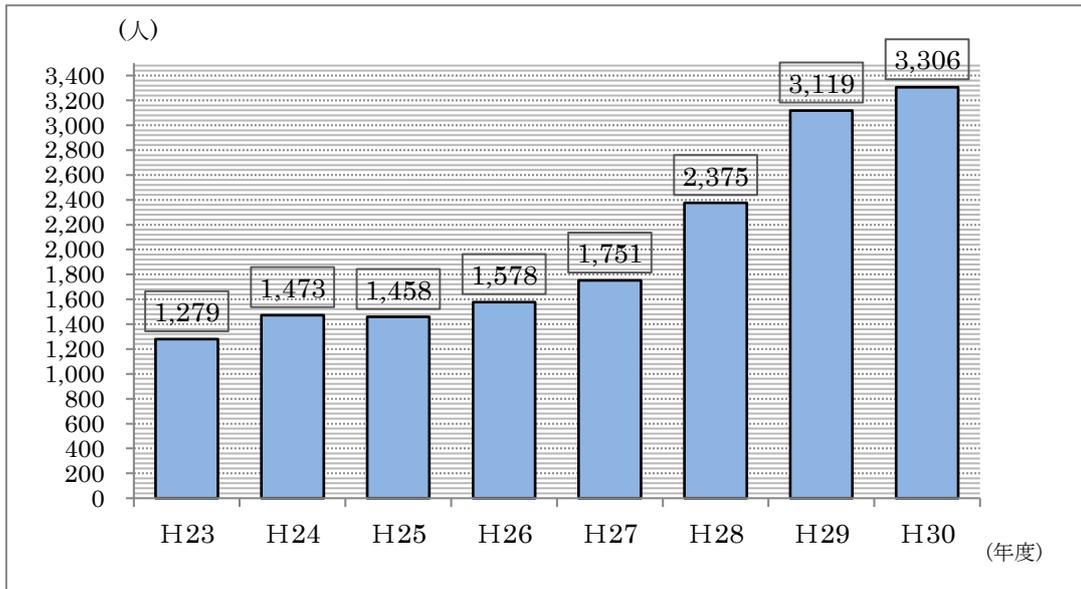
- ※ 障害程度区分の認定は18才以上の障害のある人を対象としています。
- ※ 障害程度区分は、平成26年4月から障害支援区分に改められました。

区分5、6の重度の認定が増えてきている一方で、区分1、区分2の認定は減っています。障害支援区分に変更されてからは、障害程度区分の時よりも区分が高く認定される傾向が伺えます。

7 医療・保健の概況

①自立支援医療

◆更生医療

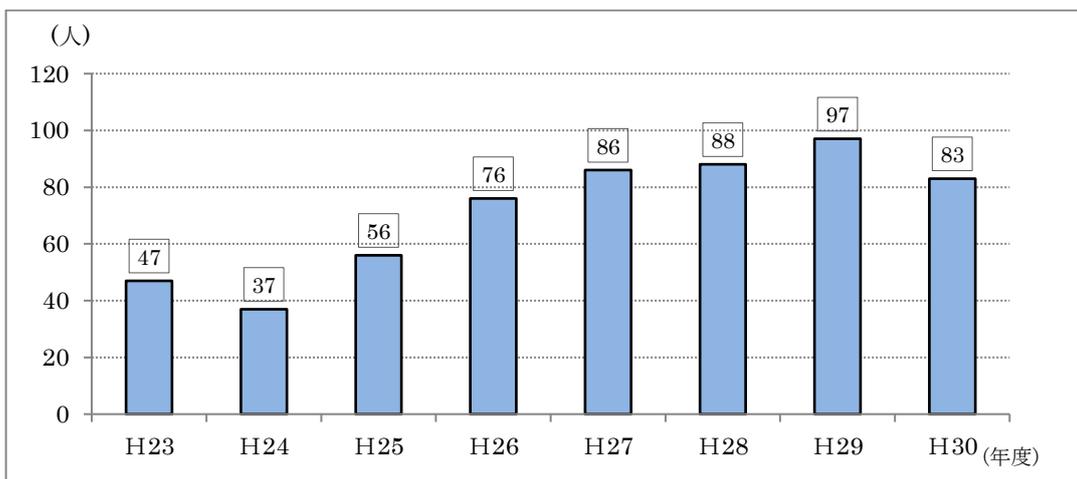


(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例

加齢等に伴う身体障害者数の増加により、利用者が増えています。人工透析、ペースメーカー埋め込み術、人工関節施行術などが該当しますが、特に人工透析は対象となる方が増えています。

◆育成医療

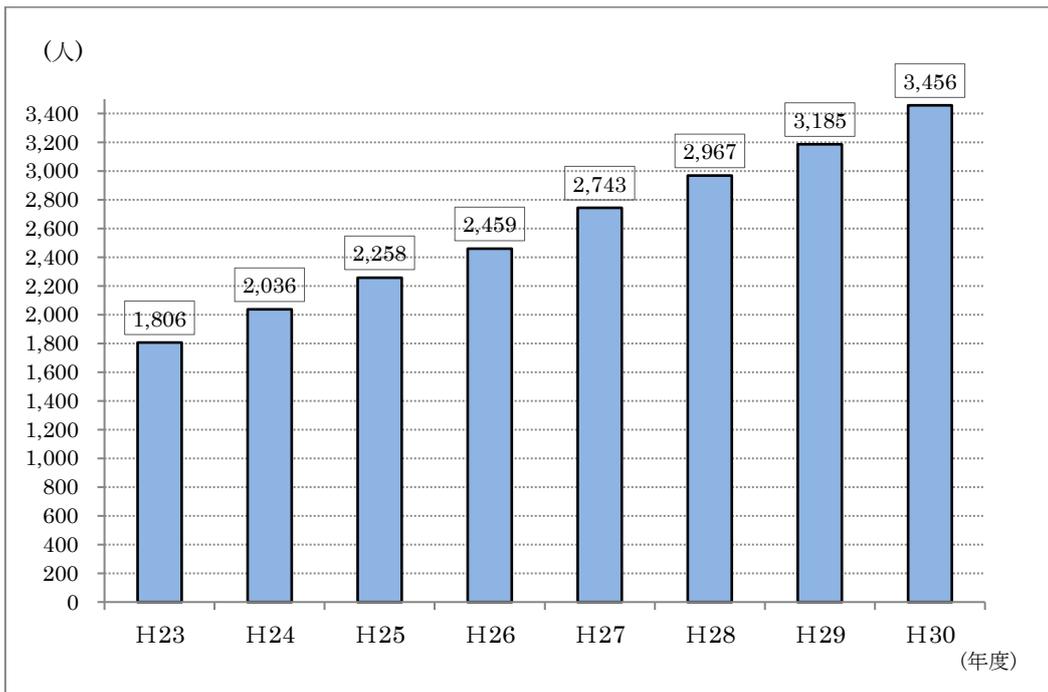


(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例

平成24年度から平成29年度まで制度の普及により利用者が増えていましたが平成30年度は減少しています。治療を終了した方が多かったことや、新規申請が少なかったことが要因だと思われます。

◆精神通院医療



(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

精神科に継続通院している人の数が著しく増加しています。毎年200人以上増加し続けており、平成30年度は、昨年から271人増加し、3,456人となっています。

■入院患者数の推移

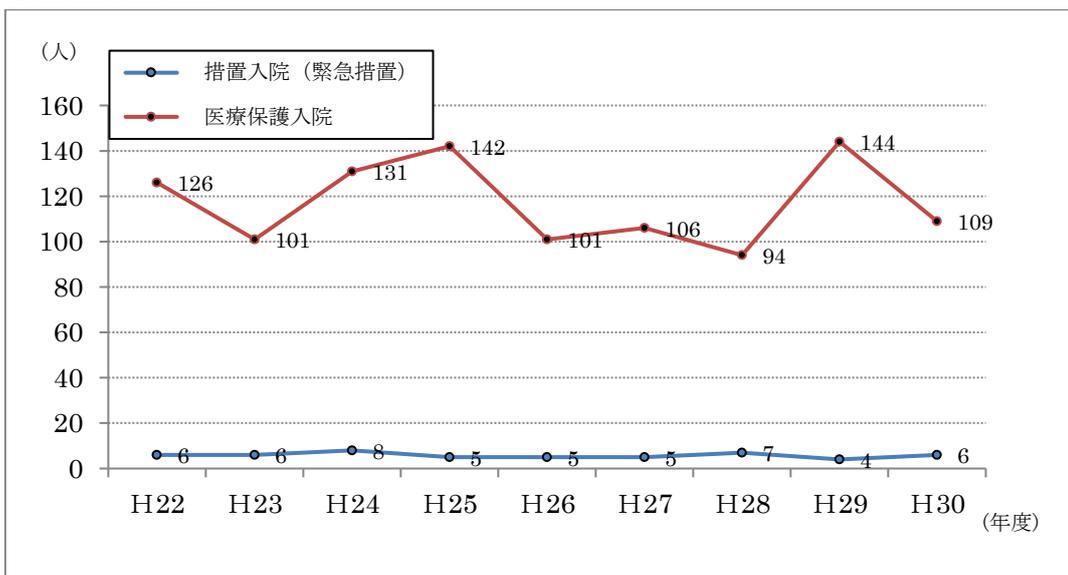
(単位：人)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
措置入院(緊急措置)	6	6	8	5	5	5	7	4	6
医療保護入院	126	101	131	142	101	106	94	144	109

(各年度末現在)

資料：草津保健所

②精神保健対策



措置入院と医療保護入院については、ほぼ横ばいで推移しています。

第2節 障害等のある幼児・児童・生徒の推移等

1 就学前児童の状況

①保育所、認定こども園（保育認定）における障害児保育

(単位：園 人 %)

項目		年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
公立	園数		6	6	6	6	6	7	7	6	8
	園児	人	643	635	628	619	633	663	686	594	661
	加配対象園児	人	35	31	42	45	42	41	43	45	69
	対比	%	5.4	4.9	6.7	7.3	6.6	6.2	6.3	7.6	10.4
私立	園数		12	13	13	13	13	16	17	19	21
	園児	人	1,754	1,917	2,071	2,135	2,221	2,425	2,694	2,813	2,832
	加配対象園児	人	47	49	57	52	47	40	51	64	62
	対比	%	2.7	2.6	2.8	2.4	2.1	1.6	1.9	2.3	2.2
合計	園数		18	19	19	19	19	23	24	25	29
	園児	人	2,397	2,552	2,699	2,754	2,854	3,088	3,380	3,407	3,493
	加配対象園児	人	82	80	99	97	89	81	94	109	131
	対比	%	3.4	3.1	3.7	3.5	3.1	2.6	2.8	3.2	3.8

(各年5月1日現在)

資料：幼児課

※ 令和元年度から志津と山田の公立幼稚園が認定こども園化されたことに伴い、公立の加配対象園児が増加しています。ただし、認定こども園の園児数については保育認定対象を上記の障害児保育で、教育認定対象を下記の障害児教育で計上しています。

②公立幼稚園、認定こども園（教育認定）における障害児教育

(単位：園 人 %)

項目		年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
園児	人		790	793	725	778	775	818	818	911	1,076
加配対象園児	人		32	32	40	45	54	57	53	59	40
対比	%		4.1	4.0	5.5	5.8	7.0	7.0	6.5	6.5	3.7

(各年5月1日現在)

資料：幼児課

※ 令和元年度から志津と山田の公立幼稚園が認定こども園化されたことに伴い、認定こども園の保育認定へ移った園児が増加したため、公立幼稚園の加配対象児は減少しています。

保育所、保育認定の認定こども園の加配対象児については、令和元年度は131人であり、約27人に1人の割合となっています。公立幼稚園、教育認定の認定こども園の加配対象児については、令和元年度は40人であり、約27人に1人の割合となっています。

2 学校教育の状況

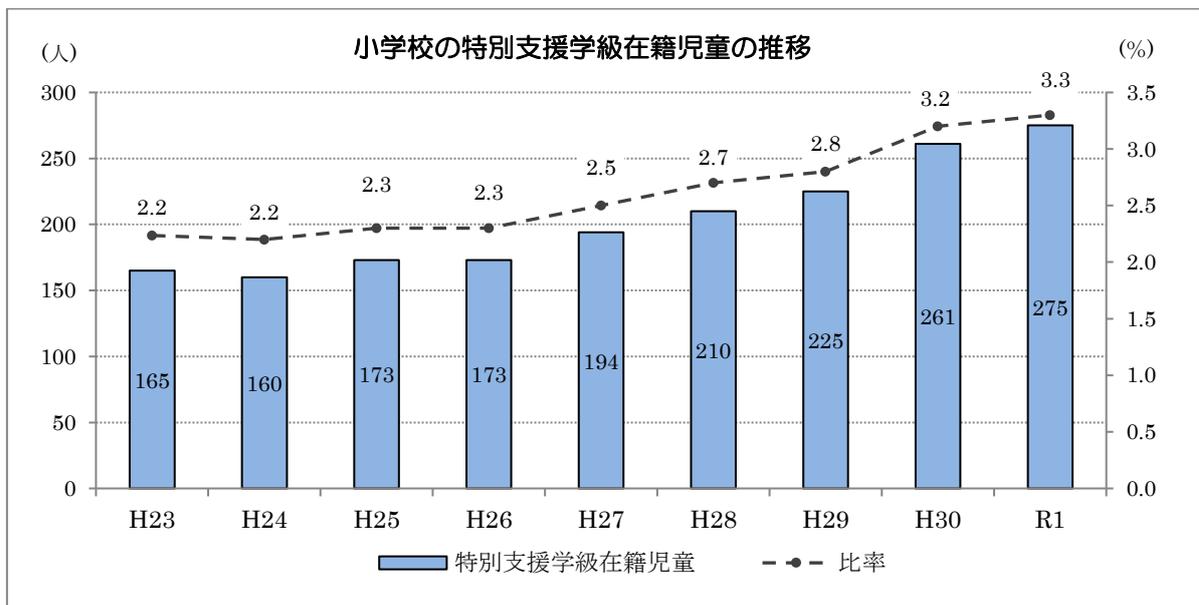
①公立小学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

項目	年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	CL	人									
実学級	CL	人	277	280	289	295	304	311	314	326	333
特別支援学級	CL	人	41	40	42	45	47	50	52	55	61
児童	人		7,378	7,365	7,495	7,567	7,715	7,818	7,964	8,179	8,282
普通学級在籍児童	人		7,213	7,205	7,322	7,394	7,521	7,608	7,739	7,918	8,007
特別支援学級在籍児童	人		165	160	173	173	194	210	225	261	275
対比	%		2.2	2.2	2.3	2.3	2.5	2.7	2.8	3.2	3.3

(各年5月1日現在)

資料：学校教育課



特別支援学級在籍児童については、年々増加傾向にあります。令和元年度は275人であり、約30人に1人の割合となっています。

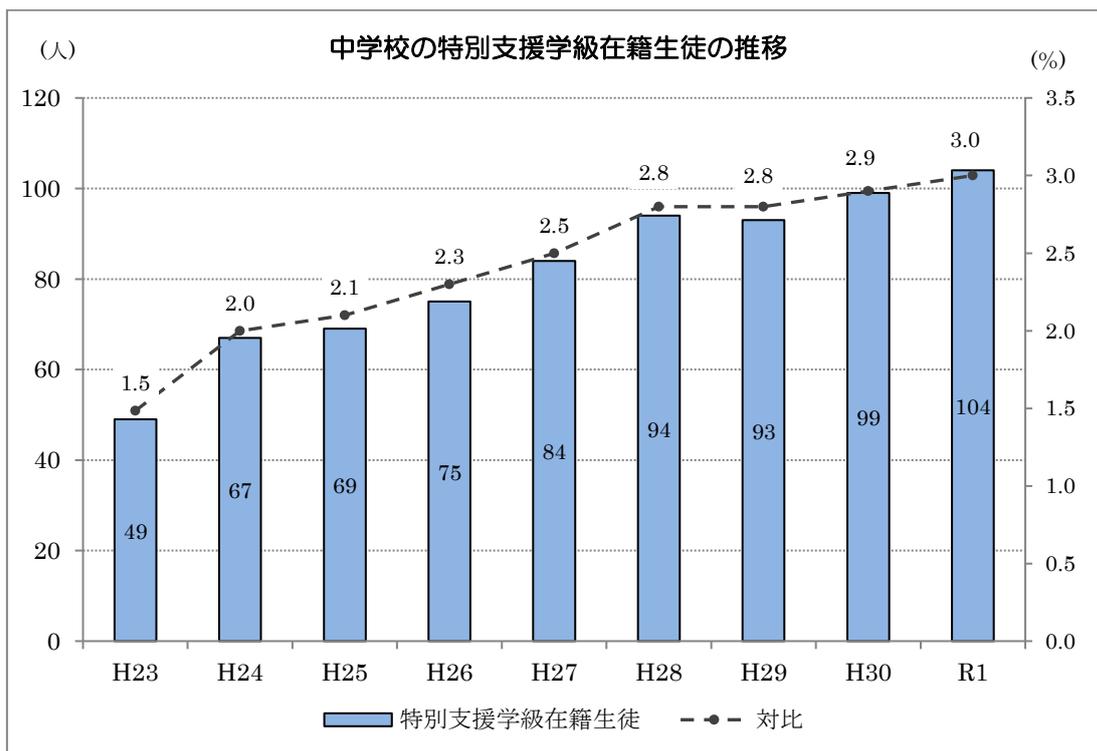
②公立中学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

項目	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
		実学級	CL	106	111	120	122	118	123	122
特別支援学級	CL	14	20	20	22	18	21	19	17	20
生徒	人	3,301	3,278	3,298	3,266	3,317	3,341	3,380	3,363	3,468
特別支援学級在籍生徒	人	49	67	69	75	84	94	93	99	104
対比	%	1.5	2.0	2.1	2.3	2.5	2.8	2.8	2.9	3.0

(各年5月1日現在)

資料：学校教育課



特別支援学級在籍生徒については、年々増加傾向にあります。令和元年度は104人であり、約33人に1人の割合となっています。

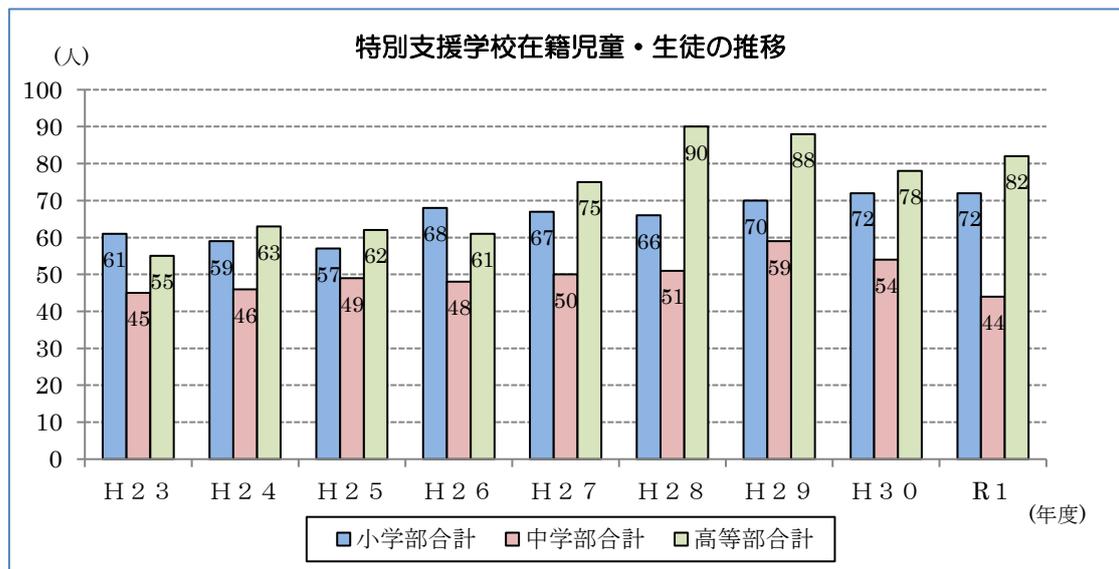
3 特別支援学校の児童・生徒

(単位 人)

区分	学校	年度								
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
小学部	滋賀県立盲学校	0	0	0	1	1	1	1	1	1
	滋賀県立聾話学校	6	6	6	5	3	4	2	3	2
	滋賀県立草津養護学校	55	53	51	62	62	61	67	68	69
	滋賀県立三雲養護学校					1	0	0	0	0
	合計	61	59	57	68	67	66	70	72	72
中学部	滋賀県立盲学校	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	滋賀県立聾話学校	0	0	1	2	3	2	1	1	1
	滋賀県立草津養護学校	43	44	48	46	44	46	57	52	42
	滋賀県立三雲養護学校					3	3	1	1	1
	合計	45	46	49	48	50	51	59	54	44
高等部	滋賀県立盲学校	2	2	2	1	2	0	1	1	0
	滋賀県立聾話学校	2	1	0	0	0	1	2	2	1
	滋賀県立草津養護学校	43	53	55	55	57	66	60	54	56
	滋賀県立甲南高等養護学校	7	6	4	5	4	3	4	4	6
	滋賀県立三雲養護学校					10	14	12	7	5
	滋賀大学附属特別支援学校	1	1	1	0	2	6	9	10	14
	合計	55	63	62	61	75	90	88	78	82

(各年5月1日現在)

資料：障害福祉課調べ



特別支援学校在籍児童・生徒については、年々増加傾向にあります。草津養護学校小学部の在籍児童数が近年増加しています。